

三条教区通信

第122号

発行日 2017年9月1日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

がんりきむぐう

願力無窮にましますば

ざいごうじんじゅう

罪業深重もおもからず

『正像末和讃』親鸞聖人

The power of the Vow is without limit;
Thus, even our karmic evil, deep and heavy, is not
oppressive.

Pure Land Hymns on the Right, Semblance,
and Last Dharma-Ages, Shinran Shōnin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

災害支援実行委員会の 活動資金にご協力ください

主に春と夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2017年度においてご協力いただいた金額は89,227円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、去る8月20日から23日の4日間で、夏の保養事業を実施いたし、14名の福島子どもたちに参加いただきました。当日の様子について、改めて報告させていただきます。

東日本大震災及び熊本地震については、宗派の救援金口座も引き続き設けられておりますので、教区と同様に何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

宗派東日本大震災救援金口座

【郵便振替口座番号】01030-4-2244

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部(救援金)

宗派 熊本地震救援金口座

【郵便振替口座番号】01010-0-2608

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部

研修会のご案内

■ 秋季声明講習会 開催案内同封

- ◆日時 2017年10月2日(月)10:00~16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 部門スタッフ
- ◆参加費 500円
- ◆対象 僧侶
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 新潟地区女性研修会 開催案内同封

- ◆日時 2017年10月5日(木)9:30~15:00
- ◆場所 第10組 聞光寺
- ◆講師 齊藤 研氏(第15組正樂寺)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」~人身受け難し~
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食代を含む)
- ◆申込み 9月27日(水)まで
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 三条教区推進員研修 開催案内既送

- ◆日時 2017年10月11日(水)10:00~16:00
- ◆場所 第15組光善寺
- ◆講師 佐々木祐玄氏(第15組光善寺)
- ◆テーマ 「報恩講」その伝統と相続を考える~報恩講の今とこれから~
- ◆参加費 1,500円
- ◆対象 推進員・どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■ 青年教化プロジェクト ほうおん! 開催案内同封

- ◆日時 2017年10月15日(日)16:00~
- ◆場所 木揚場教会
- ◆参加費 1,000円
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 秋安居 開催案内後送

- ◆日時 2017年12月4日(月)~5日(火)
- ◆場所 三条教区同朋会館
- ◆講師 大桑 齊氏(2017年度安居本講師)
- ◆講題 『蓮如上人御一代記聞書』試論
- ◆テキスト 2017年安居本講
『蓮如上人御一代記聞書』試論
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも
- ◆受講証 第2種発行(教師陸補のために一枚必要)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 教区推進員教習

開催案内既送

☆前期教習☆

◆日時 2017年12月9日(土)～10日(日)

◆場所 三条教区同朋会館

☆後期教習☆

◆日時 2018年4月8日(日)～10日(火)

◆場所 東本願寺同朋会館(京都)

◆講師 塚本智光氏(第18組 等運寺住職)

◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 法灯の集い

開催案内同封

◆日時 2017年12月12日(火)～13日(水)

◆会場 寺泊岬温泉ホテル飛鳥

◆講師 今泉温資氏(往生人舎主宰)

◆講題 「今現在説法」～記憶と記録の世界～

◆参加費 懇親会、宿泊、朝食込みの方13,000円

懇親会出席で宿泊無しの方7,500円

聴講のみの方1,000円

◆対象 推進員・どなたでも

◆申込み 2017年11月20日(月)まで

◆問合せ 三条教務所(藤波)

■ 教学研究会

開催案内後送

◆日時 2018年3月5日(月)～6日(火)

◆場所 三条教区同朋会館

◆講師 藤場俊基氏(金沢教区 常讃寺住職)

◆内容 『教行信証』化身土巻

◆参加費 500円

◆対象 どなたでも

◆受講証 第2種発行(教師陞補のために一枚必要)

◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 教行信証輪読会

◆内容 安田理深講述『教行信証』行巻について輪読

◆日時 毎月5日ごろ 16:00～17:00頃…次回9/5

◆場所 三条教区同朋会館

◆対象 どなたでもご参加ください。

◆申込み 不要です。

◆備考 6/1から第17集の輪読に入りました。

◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 化身土巻輪読会

◆内容 藤場俊基著『親鸞の教行信証を読み解くIV』の輪読

◆日時 毎月末 16:00～17:00頃 … 次回9/22(金)

◆場所 三条教区同朋会館

◆対象 どなたでもご参加ください。

◆申込み 不要です。

◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 2016年度新潟地区女性研修会 報告

女性研修会部門スタッフ

鷲尾祐子(第13組宮原善行寺坊守)

5月30日(火)、第20組常明寺様を会場に齊藤 研氏(第15組正樂寺/三条教区教化センター副主幹)を講師にお迎えし、『正信偈に学ぶ』～人身受け難し～の講題のもと、新潟地区女性研修会が開催されました。



講義の様子 齊藤 研氏(第15組正樂寺) 於 第20組常明寺

まず、講題に「正信偈に学ぶ」とありますが、日本語として、「何を」学ぶのかという事が抜けています。何を学ぶのかというと、「自分自身のこと」ですね、とお話が始まりました。そして、「人身(にんじん)受け難し」とは三帰依文などに出てきますと続き、「地獄」のお話しへととなりました。我が身は六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天)という迷いの状態に常にあり、その我が身を受け入れることができないことだと。私のことだと、聞きながら思いました。しかし、私は地獄に落ちていないと思っているのです。すでに迷いから抜け出されませんね。迷い道くねくねです。こうして聞法させて頂いて、もしや、私は地獄に居るのかと知らされます。



座談の様子 於第20組常明寺

座談会では、少人数で話しやすく、それぞれの生活状況の中で、聞法生活をされていることを聞かせて頂きました。聞法の友がいるのだと感動しました。

齊藤先生から、地獄には熱い地獄と、寒い地獄もあるのですよと聞き、怖いもの見たさに、寒い地獄も聞いてみたいと思いました。次は、あなたも一緒に聞きませんか？そして「地獄は一定すみかぞかし」と言って生活をいただきませんか？

■ 推進員・育成員共学研修会 報告

推進員教習部門スタッフ

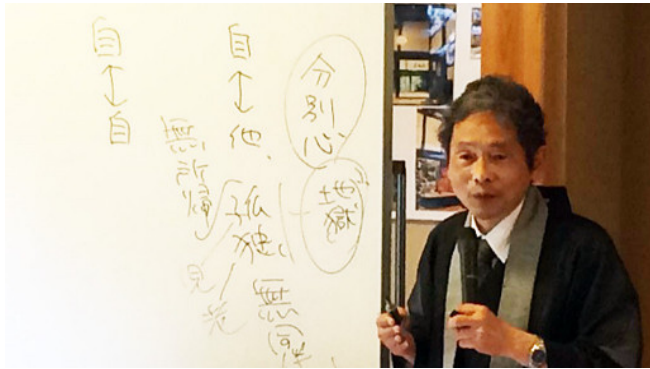
藤吉 禪(第13組廣深寺)

今年で第5回目となる「推進員・育成員共学研修会」が、6月27日に浄覺寺様(第15組)、30日に開光寺様(第10組)を会場に開催され、それぞれ約40名、約100名の参加をいただきました。

講師に田澤一明氏(第19組明誓寺)をお迎えして、内容は、前年度に引き続き「御同朋・御同行のこころ」をテーマ

にご法話を頂いたのち、推進員・育成員それぞれ数人の全体感話を皆で聞き合いました。

御法話では、御文の第1帖目第1通から『親鸞は弟子一人ももたず』…これによりて、聖人は御同朋・御同行とかしづきておおせられけり。』の部分を引きかれ、「すべての一人一人が如来にとって大切な弟子であり子であるからこそ「御」の敬語をもって、今も聖人は私たちにかしづかれ（敬意）、呼びかけ続けてくださっている」と深く確かめられ、分別に翻弄されて生活している我々の姿が問われながら、「もとあしかりしわがこころ」（親鸞聖人御消息集第2通）と教えていただきました。



講義の様子 田澤一明氏(第19組明誓寺)

改めてみると「門徒」とは同門の徒弟を意味しますから、教化するものと受けるものという上下ある師弟関係ではありません。

例えば、ある先輩から「教導」ということも「教え導くのではなく、教えに照らされ導かれるもの」の姿勢であると教わったことを思い出すと、兄弟道の実践こそが念仏者の立場であることが再確認させられます。

それは同一の「門徒」であることを忘れがちになっている我々僧侶である育成員の自覚こそが問われていることでもあるでしょう。

その中であえて「共学」とつけなければならないところに、「門徒」となり「人間」になっていけることが願われる一つの場として開かれたら貴重に思います。



参加者の様子 於第10組間光寺

■ 保育講習会

「保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座」報告

松葉幼稚園 神子島 麻由美

8月5日土曜日に新潟ユニゾンプラザにて保育講習会

「保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座」が開かれました。今回は講師に牧野桂一先生をお迎えし、「障がい児保育Ⅰ、Ⅱ」「発達心理学Ⅰ」をご講義頂きました。

私は昨年資格を取り、今回はフォローアップという形で受けさせて頂きました。昨年も牧野先生の講義を受けさせて頂いたので、再度牧野先生のお話が聞けると思い、とても楽しみに参加させて頂きました。前回とはまた違ったお話を聞くことが出来、とても勉強になりました。



講座の様子 於新潟ユニゾンプラザ

「障がい児保育Ⅰ、Ⅱ」では、障がい児への考え方の変化をまずお話くださいました。障害があるから特別にする、障害を治す為の保育は間違っている。訓練をする為に生まれて来たわけではない。障害があるからと言って決めつけるのではなく、社会にどう復帰していくのかという考え方に変わってきている。今、現代を最もよく生きているか、1人1人を大事にしていくことが大切、あなたがあなたになっていくことを支援していくことが大切だということを聞き、はっとさせられました。クラスに障害を持った子どもがいるとわかっているものの、なんとかしてよくしてあげたい、1つでも出来る事を増やしてあげたいと思い関わってしまっていたのですが、そうではなく、その子自身が輝くにはどうすれば良いのかを考え、支援していくことが大切だと気づかされました。また、障害のある子も同じ仲間として生きていく。わけ隔てなく、みんな一緒に生きていこうという考え方が世の中の考え方になって来ているということを聞き、真宗保育の素晴らしさを再度感じさせられました。

発達心理学では具体的にチェックリストの使い方やどういった視点で見て発達の遅れに気づき、どのように保育していったらよいかを学びました。無理なステップを作るのではなく、その子にあった幅で訓練にならないようにしていくということを教えて頂きました。また、年齢での重要チェックポイントや、発達課題なども大変勉強になりました。

今回学んだことを心に留め実践し、また真宗保育に携わっていることに誇りを持ちながら、これからまた日々の保育を頑張っていきたいと思いました。

学ばせて頂きありがとうございました。



教務所からのお知らせ

◎『2017年度 三條教区報』の一部訂正について

2017年8月9日発行の「教区報」について一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正し、お詫びいたします。

記

1 74頁「慶弔」について

名簿中、上原玉江様の所属組について誤植がありました。以下のとおり、訂正いたし、謹んでお詫び申し上げます。また、本号に差し替え頁を同梱させていただきます。

(誤) 第10組 (正) 第15組

2 75頁「得度受式者」について

名簿に一部脱漏がありましたので、以下のとおり、あらためて受式者全員の方について、お知らせいたし、お詫び申し上げます。また、本号に差し替え頁(すべての受式者を含む)を同梱させていただきます。(敬称略)

2016年8月～2017年7月受式者(受式順)

氏名	組	所属寺	得度月
山田一良	第15組	浄福寺	2016年8月
安部智哉	第11組	西光寺	2016年8月
立 恵子	第12組	慈教寺	2016年8月
立さやか	第12組	慈教寺	2016年8月
本田愛梨	第17組	光善寺	2016年8月
金波明志	第20組	光桂寺	2016年8月
倉井大輝	第20組	敬覺寺	2016年8月
倉井章都	第20組	敬覺寺	2016年8月
高橋利幸	第20組	敬覺寺	2016年8月
小林祐人	佐渡組	萬照寺	2016年8月
藤岡心頼	佐渡組	専念寺	2016年8月
鏑木智子	第21組	勝楽寺	2016年9月
安宅朋子	第17組	永久寺	2016年10月
渡邊芙有美	第19組	法嚴寺	2016年11月
田部真貴子	第11組	浄運寺	2016年11月
樋口 隆	第19組	浄林寺	2016年11月
西山勝彦	第17組	護念寺	2017年2月
井上和人	第16組	通琳寺	2017年2月
加藤真実	第22組	善良寺	2017年5月
長尾和美	第15組	願勝寺	2017年6月
藤井 眞	第15組	真敬寺	2017年6月
長谷川夏織	第16組	徳蓮寺	2017年6月
井上 和也	第11組	長明寺	2017年6月
柳 朝子	第19組	深行寺	2017年6月
小林 敬太	第10組	浄願寺	2017年6月
楠 阿難	第18組	西源寺	2017年7月
楠 湧生	第18組	西源寺	2017年7月
安富 成巳	第22組	光濟寺	2017年7月
田澤 会生	第19組	明誓寺	2017年7月

◎教区行事予定表 2017年

9/1(金)	14:00	大谷保育協会三条支部理事会
9/2(土)	14:00	真宗学院
9/4(月)	15:00	青少年3部門全体会議
9/5(火)	16:00	教行信証輪読会
9/9(土)	14:00	真宗学院

9/11(月)	15:00	宗議会議員選挙の日(無投票) 三条選挙区選挙管理会
9/13(水)	15:00	推進員教習部門会議
9/14(木)	14:00	教化センター
9/15(金)	14:00	連絡協議部会
9/16(金)	14:00	真宗学院
9/19(火)	15:00	大谷保育協会三条支部総会
9/22(金)	16:00	化身土巻輪読会
9/28(木)	14:00	教化センター
9/30(土)	14:00	真宗学院
10/2(月)	10:00	秋季声明講習会
10/7(土)	14:00	真宗学院
10/11(水)	10:00	推進員研修会(於 第15組光善寺)
10/13(金)	13:30	坊守研修会部門会議
10/14(土)	14:00	真宗学院
10/17(火)	10:30	女性研修会部門会議・学習会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

藤波法英

先日、かつて役僧として勤めさせていただいた寺院(東京教区横浜組)のご住職がお亡くなりになられた▼残念という感情も確かにあるが、感謝の念が先行して不思議と悲しみは湧いてこない▼なぜなら、そのご住職は私の生き方に大きな影響を与え、今でもご住職の面影が私に何かを働きかけているように感じているからだ▼当時22歳、初めてご住職の御伴をさせていただいたお通夜の席では、緊張して五条袈裟の威儀さえまともに結べない状態だった▼「それぐらいちゃんと結べるようにしておきなさい」と厳しく言われ、同時に「堂々とやれよ!」と、励まされもした▼数年たった頃、「ぼちぼち藤波君ひとりで(葬儀に)行って来て」と言われ、まったく!!住職がいるのにこんな若僧に葬儀を任せていいのかよ!!と思いつつも、しっかりやらねばという真剣みが確かに芽生えてきた事を覚えている▼いかに住職の代理だとはいえ、導師を任された以上、葬家に言い訳は通用しない▼大切な葬儀式を司り、今後の仏事やご親族の相談事にまで向き合う機会が与えられるのだから・・・▼今になって考えると、ご住職の私の扱いは、単なるお寺のお手伝いというのではなく、ひとりの僧を育てようということだったのかもしれない▼具体的に言えば、「将来、寺を継ぐならここでしっかり学んでいけ」という眼差しだ▼お寺に生まれた長男として自坊に縛りつけられているような勝手な思い込みからあきらめ感情でお寺(自坊)を継ごうとしていた私の浅はかさを見透かしていたのだろう▼本当に身に余る経験をたくさんさせていただいた▼感謝の気持ちが溢れてくる

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

本寺小路にある「日本料理 小山屋」という料理屋の俵です。三條別院には仕出し弁当のご注文をいただいたり、会合などで店のお座敷をご利用いただいたりと、平素よりお世話になっております。

私個人としても四十数年前に松葉幼稚園の園児として「のさま」の教えを享受した身であります。家から近いこともあり境内が小さい頃の遊び場でした。雨上がりの砂場に行きますと、大きな水溜りになっていて、友達と川やダムを作り全身泥だらけになって薄暗くなるまで夢中で遊んだ記憶があります。

平成二十年、三條別院には特にお世話になった出来事がありました。当時私は三條商工会議所青年部に所属して、サービス創造委員会委員長でした。目指していた事は、三條のサービス業の密集地である本寺小路を活性化することでした。そのビジョンは「歴史、文化の風情が香る大人の街」を創造することでした。

本寺小路の魅力は、三條別院を中心に宿場町として繁栄した街並みです。旅籠屋、茶屋、貸し座敷などが軒を並べ、繁華街へ発展しました。のちに飲食店、スナック、クラブ、バーなどになり、情緒や風情を残し社交、遊興の場として

親しまれています。しかし残念ながらかつてほどの賑わいはないのが現状です。

江戸時代から人々が娯楽を求めた場です。街には今ではなくなってしまう様々な娯楽がありました。映画館、パチンコ屋、色の付いた遊興施設、三條座という劇場もあつたそうです。娯楽で再び活気を取り戻したい。寺町で花街である本寺小路に落語という娯楽を根付かせたい。と私は考えました。そこで当時の藤坂初裕輪番に、「本堂をお借りして落語会を開催したい」と相談しました。輪番より「街のためになるのでしたら何でもしてください」とありがたいお言葉をいただきました。「あかり奇席」という落語会を盛大に開催することができました。この落語会を皮切りにその後、私の店の座敷で小さな落語会を年に三回開催しております。これもきっかけのチャンスを与えていただいた三條別院への恩返しと思ひ、今後も落語会を続ける所存です。

小山 武則氏（日本料理 小山屋）

○次回の「三條別院に想う」は、

スイーツ&ベーカーリー コロネットより

ご執筆いただきます。



日本料理 小山屋
新潟県三條市本町2丁目6-24
TEL 0256-33-0731

▲本寺小路にある日本料理「小山屋」には、親鸞聖人七百五十回御遠忌法要の際に、御遠忌弁当プロジェクトに関わっていただきました。また、本寺小路三和会でも中心的な役割を勤められています。

ダイソン・レイコップ奉仕団報告

八月二十一日から二十三日の三條教区夏のつどい（キャンプ）に先立ち、福島県の子どもたちが三條教区同朋会館に宿泊するため、八月九日に児連・仏青に声をかけて奉仕団を組み、布団の清掃を行いました。同朋会館の敷布団六十枚、掛布団六十枚を、別院のダイソン（ハンディタイプ三台、掃除機一台）と各自





持ち寄りのレイコップを用いて清掃しました。吸引力ではハンディタイプのダイソンが一番強いのですが、充電式なので十分しか持ちません（前回はフルパワーモードで十分で切れてしまったので反省しました）。レイ

コップは吸引力では劣りますが、電源に繋げるので、ずっと使用できます。掃除機タイプのダイソンは、吸引力も強く電源にも繋がりますが、ハンディタイプのような気軽さ・運びやすさがありません。各々一長一短があり、喧々諤々しながら、「ばらばらでいっしょ」ということを強く感じながら、みんなで今泉のそばをすりました。最後に、レイコップにつまったゴミをダイソンで吸い上げ、奉仕団が無事に終了しました。泊りに来た子ども達にアレルギーがでなかったことの背景には、奉仕団の地道な努力があったことを、報告いたします。（齋木）

朝の人生講座報告

八月二十四日から二十七日まで、夏の御文拝読に併せて、朝の人生講座が行われました。八月二十四日戸次輝氏（第十組超願寺・写真右上）の講題は「主体の転換―自己とは何ぞや―」。インドボール選手、コーチとしての人生は常に「競争」であり、僧侶の道を志すも、その中でも「競争」している自分がいるという自覚と、スポーツ選手は引退してからアイデンティティの危機に陥りがちであるということから、「愚か」とい

うことに注目して「現在アイデンティティについて法然上人を通して研究している」とお話しされました。二十五日窪智至氏（第二十組常明寺・写真右下）の講題は「Life is 南無阿弥陀仏」。幼稚園の園長もされている窪氏は、子どもから「仏さまはどこにいるの？」と尋ねられて困ったといいます。自身の結婚生活その他の失敗話から「心の中と言いたいけれど、私の心の中に仏さまがいるとしたら、なんて頼りない仏さまなんだろう。だから心の中にはない」。仏さまは「南無阿弥陀仏」という言葉なのだと言われました。

二十六日春日崇氏（第十四組西楽寺・写真左上）の講題は「いま、生命あるはありがたし」。二〇一五年五月十九日から二十四日まで厳修された親鸞聖人七五〇回御遠忌法要で前輪番が話した「ありがたいの反対はあたりまえ」について、乗ってきた汽車に「無事に送り届けてくれて有難う」と手を合わせていた方の話などをされ、便利な今が大好きだけれど、どんどん「あたりまえ」になっていく自分があると言られました。二十七日の山宮修霊氏（第十五組永閑寺・写真左下）の講題は「妄念妄執のころに聞く」。見附市今町の永閑



寺の歴史と、山宮氏のおじいさんが亡くなり住職をおじいさんの弟が継ぎ、父親は副住職の立場だったこと。住職が今町の町長選に敗北した時に山宮氏の母親が嫁に来たこと、両親と自身が複雑な環境にいたことの葛藤の歴史、その寺で過こして反発して荒れ、妄念妄執でしかなかった自身の思春期の葛藤と、その中で両親の歴史を知らされたことからの和解、自身が子どもを育てて知った葛藤と気づきを語られました。（齋木）

インド・ラダック舞踊公演

二〇一七は日印文化協定発効六十周年にあたり、記念事業として「インド・ラダック舞踊公演」が全国で行われています。九月二十九日に三条別院を会場に行われることになりました。

◆日時 九月二十九日（金） 午後七時開演

◆場所 三条別院 入場無料

詳細は別紙案内チラシをご覧ください。

秋彼岸会・朝の人生講座のご案内

九月十九日から二十一日まで、三条別院秋彼岸会・朝の人生講座を勤修いたします。

九月の朝の人生講座のテーマは「煩惱」。講師が歩んできた人生の中で、仏教が明らかにしてきた煩惱がどう聞こえてきたのか等、お話しいただきます。三人の講師に、それぞれ「貪」、「瞋」、「痴」についてお話しいたします。

◆日時 九月十九日（火）～二十一日（木）
午前六時 晨朝 人生講座

午前十時より 日中法要（二十日永代経総経
午後二時三十分より 速夜法要

◆場所 三条別院本堂

◆講師

十九日

人生講座 菊井英信氏（第十五組 稱名寺）

速夜法要 田部賢司氏（第十一組 浄蓮寺）

二十日

人生講座 渡邊智龍氏（第十八組 恩長寺）

日中法要・速夜法要 豊島信氏

（高田教区 西光寺）

二十一日

人生講座 池田陽氏（第十八組 長周寺）

日中法要 大滝充弘氏（第十八組 行念寺）

▲九月二十日におとき（聖人とあなかのひとびと）をご用意いたしますので、ご希望の方は九月十五日（金）までにご連絡ください。

▲人生講座終了後、パンと牛乳をお配りします。今回も本町の「ベーカリー&スイーツ コロネット」で朝の人生講座コラボパン先着50名を作成していただきます。

▲秋彼岸会期間中9時から16時まで、書院にて軸物を中心とした三条別院の宝物の虫干しを行います。



BAKERY & SWEETS CORONET

ベーカリー&スイーツ コロネット

〒955-0071

新潟県 三条市 本町1-2-18

月曜定休日

シアターサンジヨーゴボーエキストラ募集！



本年もお取り越し報恩講期間中、十一月六日、夜一九時三〇分より、三条別院本堂にて夜のお取り越し演劇会「シアターサンジヨーゴボー」を開催いたします。劇団は、長岡市を中心に活躍する「劇団☆ASK」です。「本堂に大切なものは何か」という問いに出遇って頂きたいという願いから、人間の「宿業」に着目し、演劇会を開催しております。

今年の演目は、『河童 どうか〜kappa〜と発音してください』（原作：芥川龍之介、脚本：保坂正人、演出：金子としやす）です。河童の世界と人間の世界を通して人間に迫ります！

それに伴い、三条教区に所属する僧侶の方からも参加していただきたく、エキストラを募集いたします。

◆募集人数 出演十名程度 スタッフ五名程度
◆内容 演劇中の演出の習礼（数回）、本番の演劇出演（担当内容はご相談させていただきます。なるべくご希望に添えるようにいたします。）

◆募集締め切り 九月二十九日（金）
参加ご希望の方は、三条別院（担当：森尻 まで電話かEメール（sanjo-betsuin@ing.ocn.ne.jp）にてご連絡ください。

宗祖御命日の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会を開いております。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 九月二十八日（木）午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下 念仏讚 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

塚本 智光氏（第十八組 等蓮寺）【第一章】

▲昨年一月より、「歎異抄」に聞くをテーマに、各講師一草ずつ担当してお話しいただき、八月で後序まで終了しました。参詣者から「歎異抄」は繰り返し読まなければ難しいという意見が多く、九月からも継続して、改めて第一章から始めることになりました！はじめての方もぜひご参加ください。

◆今後の講師一覧

テーマ 『歎異抄』に聞く

十月 日下部文典氏（第十四組 蓮壽寺）【第一章】

十一月 村山まみ氏（第十一組 願興寺）【第二章】

十二月 堀川秀道氏（第十六組 浄専寺）【第四章】

定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時二十分より(二時間程度)

◆場所 三条別院 旧御堂

◆講師

九月〜十二月 細川好圓氏(第十七組護念寺)

「和讀から学ぶ浄土真宗」

▲今回は親鸞聖人の「和讀を書道教室講師(木原光威氏)のお手本を参考に書写してご法話をお聞きします。

女性僧侶による音楽法要助音習礼

十一月のお取り越し報恩講では、毎年五日に女性僧侶が助音を勤める、お取り越しお待ち受け音楽法要が勤められています。県内各地からの合唱団と女性僧侶の声で荘厳される、お取り越しのはじめをかざる、華やかな法要です。今年の習礼(講師・永寶晴香氏、柏崎市浄敬寺)は既にはじまつておりますが、九月以降も五回の習礼(九月八日、九月二十八日、十月十二日、十月二十四日、十月三十一日、いずれも十三時から)を設けております。



その他の講座案内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

〔月一回、午後六時〜八時〕

八月三十一日(木)〔済〕、九月二十五日(月)

十月十六日(月)、十一月十五(水)、十二月十三日(水)

講習内容 真宗大谷派勸行集(赤本)

講師 永寶晴香氏(第十組 浄敬寺)

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 二七〇〇円(テキスト代含む)

随時募集中

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

○三条別院有志の会

月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、聞法会を開催

しませんか?輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。

○別院収骨・永代経・申経

ご都合に応じて常時承りますので、ご連絡ください。詳細

はHPまたは教区報でご確認ください。

◆編集後記◆

八月二十五日、朝の人生講座の二日目。

「行きはよいよい、帰れない」ご講師の窪 智至氏が法話の冒頭でそのように言われるほど、その日は早朝より雷を伴う酷い土砂降りとなっていました。そのような天候のなか、四十数名もの方々にご参詣いただいたことに大変感激させられました。実はここ数年、「朝の人生講座」に参詣される方の人数は減少傾向でした。今回、列座の斎木を中心として積極的に宣伝活動をさせていただいたこともあり、「お寺での催し物に興味があるけれども、何時・何処でやっているかわからない」「そんな方々と少しでも出遇うことが出来た結果かもしれない。最終的に四日間の参詣者数はここ数年の倍近くでした。

別院に限らず、精力的に法話会・イベントを開かれていらっしゃる寺院はたくさんあります。その一つ、七月二日には十九組改観寺様で「本堂じよんのびコンサート」が催され、私もお邪魔させていただきました。演奏あり演劇ありのバラエティーに富んだ内容に堂内は大変盛り上がりました。このようになご寺院方の活動をもっと多くの人に知ってもらいたいと、同朋会館入り口にて、お持ちいただいたポスター・チラシを掲示・配布することもしております。「お寺での催し物に興味があるけれども、何時・何処でやっているかわからない」別院の仕事の一環としてそんな方々との出遇いの手助けが少しでもできれば幸いです。

(松浦)